

## 医療薬学研究に関する情報公開

### 【研究名】

ヒノキ科花粉大量飛散年における 2019 年の花粉情報メール配信の評価

### 【目的】

我々は、ヒノキ科花粉の少量飛散年において、スギ花粉症に対するメール配信の有用性、及びメール配信による初期療法参加への意識変化、さらに花粉症患者における治療費や花粉症の症状対策に対して有用な事を報告した。しかしながら、花粉飛散数が多い年度についての検討は行っていない。2019 年度はヒノキ科花粉が大量飛散したことから、メール配信が花粉症に対する治療費や患者の症状に対して有効かを検討する。

### 【研究内容】

アプロ東尾道薬局（尾道市）に、花粉情報のメール配信を希望した患者を対象に「尾道の花粉飛散状況をメールでお知らせします」と題してメール配信し、花粉飛散が終了した後、アンケート調査を実施する。花粉情報のメール配信が、花粉症初期治療への受診率向上、花粉症症状の自己管理に対する有用性等に対してどの程度貢献したかを解析する。

### 【研究期間】

2020 年 2 月 1 日～2021 年 5 月 10 日を予定

### 【個人情報の管理】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、アンケート対象者のプライバシーに配慮し、匿名化後に調査・解析を実施する。アンケート結果の発表や出版に際しては、個人が特定できるような情報は掲載しない。匿名化は、ID 番号を登録順に各患者へ付与し、その ID 番号のみを個人識別情報として研究責任者及び分担者のパソコンにて管理する。データを保存・解析するパソコン（松山大学薬学部臨床薬学研究室及びアプロ東尾道薬局）については、ロック機能を有しパスワードを付与してアクセスする。パスワードは、研究責任者・分担研究者のみが共有し、パスワードが漏えいしないよう定期的に管理・更新を行う。また、個人情報を含む資料（レポート用紙と ID 番号対応表）は、

アプロ東尾道薬局で鍵のかかる保管庫に保管し、個人情報の保護に細心の注意を払う。また、メールにて回収したファイルは、パスワードを付与してアプロ東尾道薬局のパソコンにて管理する。なお、各施設から得られた情報が記録されたメディアも、鍵のかかる保管庫に保管し、個人情報の保護に細心の注意を払う。研究終了の5年後、研究責任者または研究分担者が責任をもって廃棄する。

#### 【研究実施体制】

- 1) 難波弘行（松山大学薬学部）
- 1) 高取真吾（松山大学薬学部）
- 1) 河添 仁（慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター）
- 2) 岡田啓司（アプロ東尾道薬局薬剤師）
- 1) 豊田芳彦（アプロ東尾道薬局薬剤師）
- 1) 清水秀樹（アプロ東尾道薬局薬剤師）
- 2) 宮野良隆（みやの耳鼻咽喉科）”

#### 【研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する問い合わせを希望される方は、研究責任者に御連絡ください。

研究代表者

松山大学薬学部臨床薬学部門 難波弘行

790-8578 松山市文京町4番地2

電話番号：089-926-7237

E-mail：hnamba@g.matsuyama-u.ac.jp”